



むつざわ

議会だより

第184号

2025年(令和7年)

5.15



小学5年生による田植えの風景

【3月 令和7年第1回議会定例会】

予算概要	2～3
総括質疑	4～7
討論	8～9
委員会結果報告	10

補正予算など	11
議員別表決結果一覧	12～13
一般質問	14～17
議会活動日誌・編集後記など	18



議会ホームページ

発行／睦沢町議会 編集／睦沢町議会だより編集特別委員会
〒299-4492 千葉県長生郡睦沢町下之郷1650-1 ☎0475-44-2510
<https://www.town.mutsuzawa.chiba.jp/kurashi/gikai>



議会中継

第一回議会定例会

・一般会計予算前年度より

4億3千9百万円増の41億4千3百万円

令和7年第1回議会定例会が、3月3日から10日までの8日間を会期として開催されました。

- ・一般会計ほか、3特別会計予算、企業会計予算は、予算審査特別委員会を設置し、審査を付託しました。
- ・提出された議案30件・発議案4件は、原案のとおり可決されました。
- ・一般質問は5名の議員が行い、町政の課題を問いました。

一般会計歳出などの主な内容

指摘要望事項への対応

決算審査特別委員会の指摘要望事項に次のとおり取り組み。

①徴収事務において、新規滞納者の発生防止の観点から、初期末納者に対し早期の文書催告などで自主納付を促すとともに口座振替を

勧め、滞納者に対しては、財産調査により生活状況を把握し、納税相談を通して自主納付の習慣化に努め、軽自動車税の滞納者には、廃車手続きの失念による滞納の可能性を鑑み、注意を促す文書を同封する対応を進める。

自主財源の確保として、ふるさと納税では、引き続き

き返礼品などの掘り起しに努め、新たな返礼品についても登録の支援を行うとともに効果的なPRにより寄附の増加を図っていく。

その他の自主財源のうち使用料や手数料については、物価高騰の影響や受益者負担のバランスを考慮し、時期をみて検討する。

②道の駅について、これまで定期的な会議で指定管理者と意見を交換行い、今後とも会議などの中で、特に町民利用者の増につながる方策などを模索していくとともに、町民のみなさんの意見や町の考えなどを伝える。

③不足する保育教諭を補うため委託による派遣について進め、新たに登降園システムを導入することで、保育教諭の業務負担軽減を図る。

④国民健康保険特別会計は、厳しい状況となっているが、一人当たりの医療費は減少していることで、繰入額は減少していく見込みとなっている、健康診断などの実施等により、引き続き医療費抑制を図っていく。

特別会計

国民健康保険特別会計

9億5,369万円

前年度比6,037万円の減額(5.95%減)
被保険者が年々減少しており、依然として1人当たりの医療費が高額となっている。
町民一人ひとりが健康であることが医療費の引き下げにつながることから特定健康診査などの保険事業の実施とあわせ、被保険者の健康づくりへの意識高揚に努める。

介護保険特別会計

8億3,185万円

前年度比134万円の減額(0.16%減)
サービスが必要となった際の介護給付や予防給付など、多様なサービスを展開することにより住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らし続けることができるように、地域支援事業の現状分析を行いながら、充実させていく。

後期高齢者医療特別会計

1億3,495万円

前年度比40万円の増額(0.05%増)
健康診査、健康教育と併せて、介護保険の地域支援事業や、国民健康保険の保険事業などと一体的に取り組む。

企業会計

下水道事業会計

農業集落排水施設及び合併処理浄化槽の維持管理及び新規合併処理浄化槽設置工事など生活環境の改善と公衆衛生の向上に努める。

収益的収入	8,040万円	基本的収入	8,040万円
収益的支出	7,863万円	基本的支出	7,863万円

町の財政状況

財政の健全化を示す健全化判断比率は、いずれも早期健全化基準を下回り、健全財政を堅持している。

しかし、歳入については賃上げ効果による増収分も生産年齢人口の減少により打ち消され、歳出においては各施設の老朽化への対応や学校建設のための経費の増、また社会保障関係経費や人件費、物価高騰による物件費の増も見込まれ、依然として厳しい財政状況が続くと考える。

一般会計

第2期総合戦略の実現

①健康―暮らしや交流が健康につながるまちづくり

・みどりの広場は、子ども連れのご家族を中心に多くの方が利用されているが、雨や日差しを避けられるところがないとの声が多かったことから、四阿を整備し、より快適に過ごせるようにする。

・各種健診事業を通して健

康の保持・増進、病気の早期発見・治療につなげられるよう努める。

・感染症予防では、本年度から新たに带状疱疹ワクチンの定期予防接種が導入されると共に、町独自の任意予防接種も追加し、65歳以上の全ての方を対象に予防接種を実施して行く。

・健康課題改善の取り組みの一環として、新たにナトリウムとカリウムの比率を測定し、ナトリウムマップを使用した減塩教室を実施して町民の健康づくりを推進する。

②子育て・教育―健康な成長の循環を生み出すまちぐ るみでの子育て・教育の推進

・より良い教育環境を整備するため、陸沢中学校建設基本計画の策定や地質調査を実施するほか、こども園、小中学校で必要な修繕や備品などの購入を進めていく。

・小学校では、スクールバス
の安全な運行のため、狭
い道にも対応できるようマ

イクロバス1台を購入し、車格の大きい現在のスクールバス3号車は、公民館バスへと変更する。

・こども園では、登降園管理のためのシステムを導入し、子どもの安全に資するほか、保育教諭の負担軽減も図る。

・小中学校にデジタル教材として導入したスマイルネクストについては、教材費として保護者から月額100円を徴収していたが、今年度は月額100円の負担を0円とし、保護者の経済的負担の軽減を図る。

③しごと―まちのポテン シャルを生かした多様な働 き方・まちとの関わり方の 創出

・町広報やホームページ、SNSなどの活用により、引き続き関係人口の創出を図る。

・むつざわスマートウェル
ネスタウン・道の駅・つど
いの郷を拠点とした産業の
活性化、多様な仕事、働き
方を創出するため、引き続

き担い手農家や新規就農者、地場産品の開発・改良を行う団体へ支援の実施を行う。

・有害鳥獣対策では、鳥獣被害の軽減を図るため予算を増額し、金網柵などを設置し、農作物への被害縮小を図る。

・企業誘致を促進するため町有地などの活用を含めたサウンディング調査を実施し、検討を進めていく。

※サウンディング調査

これは、事業の検討において、事業内容や事業スキームなどに関して直接の対話などにより民間事業者の意見や新たな事業提案の把握などを行うことです。

④くらし―町民の豊かな暮 らしを支える基盤づくり

・昨年度、川島グリーントウンの半分を分譲し、今年度は残り半分の分譲も開始し、若年人口増加や地域活性化を図る。

・市場関係戸線をはじめとする道路改良工事を進めるとともに道路維持工事や橋梁の点検、補修、架け替え

についても進め町民の安心、安全な生活環境の整備を図る。

・災害対策、特に自主防災組織の育成は喫緊の課題であり、自主防災組織への支援として総合交付金の増額や資機材の整備や自主防災組織の避難所の改修にかかる経費への補助金を新たに創設する。

・親子防災キャンプ事業に対する支援も引き続き実施し、防災士の資格取得に対する補助金を継続し地域防災力の向上に努める。

・高齢者や障害者など、交通弱者の移動手段としての福祉タクシーは、1回当たりの利用上限額を3千円に引き上げることにより使い勝手の良いものとし、移動手段や外出機会の確保を図る。

・中学校建設基本計画策定業務は、基本計画の策定からアドバイザリー業務として中学校建設工事にかかる入札執行までの2カ年に渡る契約となるため、継続費を設定。

一般会計

みどりの広場

問 町民の声を聞いて四阿あずまやの設置をしたと思います。

更なる遊具の増設や、築山側の遊具周辺の整備がされていない、との声も聞きますが対応はありますか。

町長 熱中症対策として、四阿を予算計上しました。

利用者の意見を集約して、より良いみどりの広場にしていきたいと思っています。

疑

質

括

総

マイクロバス

問 新たにマイクロバスを購入するが運転手の確保はできていますか。

また定年が75歳ですが、こども園、小学校の送迎をしていると、万が一ということもあります。

委託も含め検討しているか伺います。

教育課長 現時点において、教育委員会が必要な人数の確保はできています。



マイクロバス

町長 現状厳しい雇用状況のなかで、70歳までに絞るよりも、75歳でも大丈夫という、適性検査などでしょうか対応していきたいと思っています。

町長 町に居を構えたいと思っただけの方を選ん

ができるのか伺います。

町長 町に居を構えたいと思っただけの方を選ん

若者定住施策

問 川島グリーンタウンの分譲目標値は13棟としているが、今後、全区画の売却



川島グリーンタウン販売中



楽しいこども園の生活

でいただける販売の仕方をしていきたいと思っております、販促にはチラシや、SNSでの発信などで、周知を徹底していきたいと思っています。

企画財政課長 短期的な目標ではなく、5年、10年ぐらいの幅を見て購入していただければと考えています。

問 若者定住施策としては、住宅などはこれまで一定の効果は発揮していると思います。

しかし、永く住んでいた、町外から帰ってきていただく、その視点が少なかつたと思うが、いかがでしょうか。

保育士委託

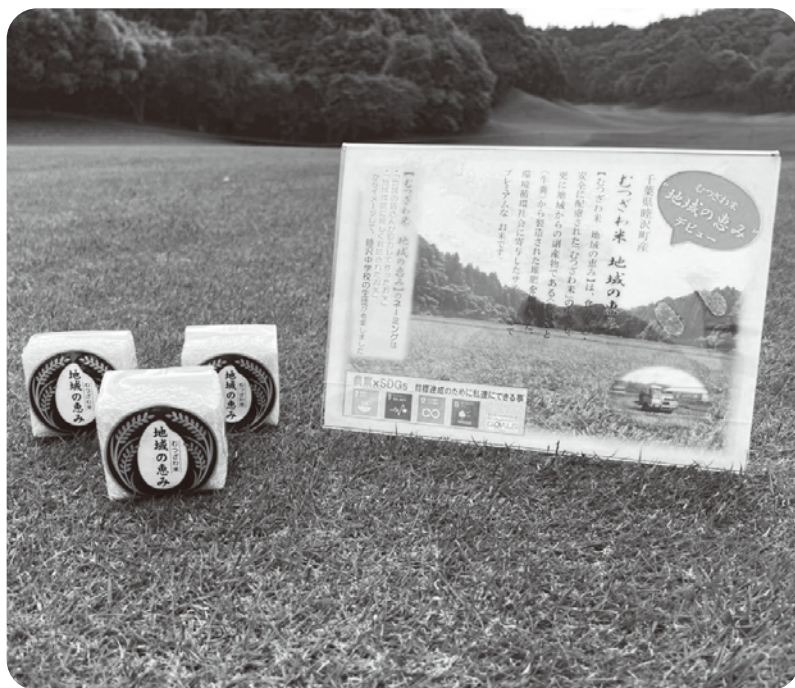
町長 教育、子育て支援など、町の良さを知っていただき、子どもが社会人になった後も住んでいただきたい。そして、この町を選択して住んでいただけることを目指していくことが重要と考えます。

問 委託による保育士の確保により、管外保育の利用者は、希望があれば、こども園に入れますか。

福祉課長 保育士が不足して管外保育になってしまいうことは来年度はありません。

問 委託に頼らない人材確保も考えていますか。

総 括 質 疑



ふるさと納税返礼品

ふるさと納税

教育課長 正規職員を募集しても応募がない状況なので、緊急的に派遣業務委託を使わせていただいています。令和7年度も引き続き保育士の募集を続けます。

問 ふるさと納税による自主財源の確保として、効果的なPRにより寄附額の増

加をどう図っていくのか伺います。

企画財政課長 令和7年度10月からポイントの付与がなくなるので、駆け込み需要を見込みながらふるさと納税をたくさんいただけるタイミングをみてポータルサイト上でPRを行います。

問 町が返礼品を創意工夫し積極的に提案していくのか伺います。

企画財政課長 返礼品の数は増やしており、良いマッチングがあれば、進めてまいります。

問 現在のふるさと納税は、返礼品ありきで進んでいます。ふるさとを離れた方が故郷を思い納税するという原点に立ち返るため、若者などへ呼びかけていく考えはありますか。

町長 町に対する思いを、地域への郷土愛の育成につなげていき、ふるさと納税という制度で表してもらえるようにしていきたいと思っています。

農業施策

問 認定農業者と新規就農者に予算はありますが、定年帰農者、高齢者などへの支援というのは全く触れていないが、考えを伺います。

産業建設課長 機械の補助という予算はつけさせていただいております。3月補正で可決いただいたエネルギー補助、肥料、飼料の補助につきまして、令和7年

度に実施するということでは農業分野にも支援しております。

問 美しい農村環境を次世代へ引き継いでいくため集落営農の取り組みを支援しますとあるが、具体的な内容を伺います。

町長 営農にしても担い手不足の部分が最終的には離農につながると思います。

担い手不足については国また県でも喫緊の課題であるということは共通認識しているところです。

補助や、その他の施策など、情報を得て、町にも反映させていきます。



田植の風景



防災訓練

防災

問 4月から防災担当室を設置するにあたり、町が抱えている問題に対して、どんな役割を担うのか伺います。

町長 命を守るための行動、備品管理など、町からも発信して、町民の皆様にも、共通認識を持ってもらえるように、その中心になるのが自主防災組織だと思います。

防災担当室は、そのつくり込みに取り組みます。

疑

職員採用

問 自主防災組織は各地区において、活動実態に差がある。
今後、講習などを行う考えはありますか。

町長 講習などで意識を高めてもらうなど、つくり込みを加速させたいと思っています。

質

問 一般職、専門職も含めて人材確保していくために、なにか新しくPRしていくことはありますか。

総務課長 各関係機関への通知や、試験実施時期などを考えて募集をさせていたできました。

また新たに良い方法があれば取り入れていきたいと思っています。

括

10年後、20年後に向けて

問 明るく素晴らしい未来に向けてとありますが、この予算で、布石となっているものを具体的に伺います。

町長 町の未来を背負って

立つ子どもの居場所作りというところで、中学校建設とサウンディング調査を行います。

害獣対策

問 金網柵を増やすと路肩の崩れや景観を損ねる作業効率の低下などあり、最善なのか伺います。

町長 10年後を考えたときに、金網の中で農作業をしている風景が目につかぶような状態になりつつありますので議員の皆様、町民の皆様、協議会の皆様と協議し、検討します。



害獣対策（金網柵）

産業建設課長 まず農家の農作物を守っていく観点から、緊急的な対応として金網柵を設置しました。

問 金網柵をやりますと、他所に流れます。被害縮小も必要ですが、捕獲体制を強化するという視点が必要だと思いましたがいかがでしょうか。

産業建設課長 法律で、従事者一人当たり箱わなの数30個という決まりがあり、箱わなを多く設置するには従事者さんの数を増やす必要があります。

本町も高齢化、担い手不足で猟友会の方も減っているなか、資格者を増やすために免許取得の補助の拡充を検討させていただき、猟友会の方が増えるようにサポートしていきたいと思っています。

他市町村との連携が必要です。ので、県や猟友会など協力しながら進めていきたいと思っています。

関係人口の創出

問 HP、SNSなどの活用により関係人口の創出を図っていくとありますが、どれほどの効果を見込めるのか伺います。

町長 HPも広報と同じくSNSと連動させたなかで進めています。

HPを見る方、広報を見る方の数も、広報の改革を進めている中で徐々に増えてきている状況です。

今後も新しい取組、改革を進めながらHPのほうを見ていただき、関係人口を増やしていきたいと思っています。

地場産品

問 地場産品の開発は難しく、そこに予算をつけるよりも、小さな農家さんが後継者に引き継ぐときの補助など、そちらのほうがいいのではないのでしょうか。

町長 この町になにか新しい地場産品を生み出していきたいという思いがありますので、ゼロにすることはなく、するべきではないという考えを持っています。

担い手の為に予算を回す考え方は分かりますが、地場産品の開発に取り組み予算については、補助制度がありますよと背中を押したいと思っています。



大豆を使った味噌づくり

国民健康保険 特別会計

問 法定外繰入れが前年度から減の1千万円ということですが、被保険者は前年度比8%減ということで、被保険者がどれだけ減ったのか、この繰入金金の減は、これで本当に大丈夫かというところをお聞きしたいと思います。

健康保険課長 初めに、被保険者数の減をどのくらい見込んだのかという点につきましては、本年度から比べて平均で120人減を見ております。被保険者数1千439人で、保険税などの算定をさせていただきます。

総括 法定外繰入については、令和6年度、補正で3千万円から2千万円に下げさせていただきました。そのため、新年度予算については、法定外繰入れということで、1千万円を計上させていただきます。

今現在、国民健康保険加入者の医療費が、入院にお

いてだいぶ下がってきています。主な要因としては、今年度に入りまして循環器系疾患といわれる心筋梗塞や脳卒中の方がだいぶ減ってきたことで入院費がだいぶ抑えられていることから、1人当たりにかかる医療費が抑制できたという点と、今現在千葉県で保険料水準統一に向けて動き出しているという事です。

令和6年度は、医療費にかかる医療指数の反映が1でしたが、令和7年度から、毎年度0.2ずつ引き下げられることによって、令和11年度には医療費水準は反映されない納付金ベースの統一という予定となっております。

医療費が多くなっている本町においては、医療費指数の反映が少なくなることで、県へ納める事業費納付金が少なくなり、保険税で賄わなければいけない財源も少なくなってくることから、今現在の医療費の水準だと、本年度は、1千万円の法定外繰入れで賄える見込みとなります。

問 被保険者が減ということと、また医療費もからなかったということは、町が今までやってきた健康事業が実を結んできたということでしょうか。

健康保険課長 城西国際大学に医療費の分析をお願いしたところ、睦沢町は、糖尿病などの生活習慣病が多いけれども、ほかの市町村と比べて骨折とか筋肉に関する疾病で入院する方が非常に、少ないというデータが出てきました。これは健康教室などをやって、足腰など健康に維持できているのかなと思っています。

なお、健康課題である糖尿病や高血圧については、引き続き、事業のほうを展開しておりますのでご理解いただければと思います。

介護保険 特別会計

問 減額予算の理由は何ですか。そのことでサービスが低下することはありませんか。

健康保険課長 予算編成に当たり、65歳以上の第1号被保険者数を前年度から42人減の2千729人を見込んでの予算編成となっております。介護保険のサービス利用者数については370人とほぼ今年度と同数を見込んでいます。介護サービスが必要な方の出現率を、本年度より高い15.6%と見込んでいます。

こういった点から、予算においては介護が必要な方が必要なサービスを受けられる予算編成とさせていたいただきました。なお、保険給付については、令和7年度より微増となっております。

後期高齢者医療 特別会計

問 保険料が増額予算になっていますが、これは保険料が上がるからですか。

健康保険課長 増額理由は、保険料が2年ごとに見直しがなされていて、令和7年度は均等割が4万3千800円で、所得割が9.11%、そして賦課限度額が80万円で試算した保険料となります。

なお、令和6年度については、急激な保険料の上昇を抑えるために経過措置により所得割が8.45%、賦課限度額が73万円で試算していますので、保険料率が上がったことによるものと、被保険者数が前年度より36人増の1千640人で見込んだことによるものが大きい理由となっています。なお、年々所得のある被保険者数が増えていることも、保険料が上がった要因となっております。

一般 会 計

反対討論

松島和子 議員

現在の物価高騰の状況を考えたとき、この予算が本当に十分であるのか疑問を抱かざるを得ません。

子育て支援のさらなる充実として、学校給食の無償化や教材費の無償化をぜひとも実現していただきたいと考えます。

討

町の主要な産業である農業を守るための予算も、より充実させる必要があります。町でも、小規模な家族経営農業をはじめ、さまざまな農業形態を支援しなければ、農地や環境の維持が困難になってしまいます。

また持続可能な地域経済のためにも商店や福祉施設を含む中小事業者への支援が不可欠です。国の物価高騰支援金だけでなく、町独自の支援策を講じることが求められています。

今回の予算案の中で特に懸念を抱いたのは、自治体情報システム標準化をはじ

賛成討論

田邊明佳 議員

人件費の増加や物価高騰の影響、さらに予算編成方式の変更により、前年度比11.8%増の41億4千300万円となりました。

一見すると町の持続可能性が懸念されるものの、財政は健全に保たれています。教育施設整備基金の積立

により中学校建設の資金確保が進み、防災組織の強化や公共施設の修繕、高齢者支援、ワクチン助成など、町民全体に配慮したバランスの取れた予算となっています。

今後は子どもへの支援拡充と計画的な事業執行を求め、賛成とします。

賛成討論

島貫 孝 議員

町の将来像「いろんな笑顔であふれるまち」の実現に向け、健康、子育て、教育、しごと、くらしの4つの政策分野の実現に向けた取り組みが反映されています。

健康分野では各種予防接種や健診事業、ナトリウム測定への導入。子育て・教育分野では中学校校舎建設やデジタル教材費の無償化。しごと分野では農作物の鳥獣被害軽減や企業誘致の促進。くらし分野では自主防災組織への支援や高齢者福祉の強化を評価しています。財政面での計画的な運営を求め、町の発展に期待し賛成とします。

反対討論

松島和子 議員

国民健康保険は、憲法第25条に基づき国民の医療を公的に補償する制度で、加入者の多くは低所得者や高齢者です。

町は医療費が高く、近隣市町村と比べても保険料が高額でした。住民負担軽減のため町は法定外繰入れを行ってきましたが、今年度は加入者の減少や医療費の減少により赤字が縮小し、繰入額も半減。しかし依然として保険料は高く、物価高騰と年金の伸び悩みを考慮すると、繰入金を減らさず、保険料引き下げを求め、反対とします。

国民健康保険特別会計

国民健康保険特別会計

賛成討論

三橋優一 議員

国民健康保険制度は、高齢化や医療費の増加により財政が厳しい状況が続いています。

県は令和7年度から、市町村間の保険料格差の縮小のため、医療費水準の反映を段階的に減らす方針です。

町では、高齢化と医療費の高さにより県への納付金負担が大きく、一般会計からの法定外繰入れを行う必要があります。

討

しかし、保険料の収納率向上や医療費適正化の取組により、繰入金の削減が進んでいます。

また、疾病予防や特定健診の受診率向上に積極的に取り組んでおり、町民の健康寿命の延伸と財政の安定を期待し、本予算に賛成とします。

介護保険特別会計

反対討論

松島和子 議員

介護保険は、高齢者の生活を社会全体で支える制度として導入されました。

しかし近年は「自立支援」を重視し、介護を必要としない状態への回復を目指す方向へと転換されました。

さらに介護認定率や給付費を抑えた自治体に対し、国が交付金を支給する制度も導入されました。

その結果、町では訪問介護事業所が1軒、通所介護事業所が2軒に減少し、高齢者が必要な介護サービスを受けにくい状況になっています。

高齢者の自立は重要ですが、支援が必要な人への適切な介護も不可欠です。国は高齢者や事業者、市町村に負担を押し付けず、公費負担を増やして制度を充実させるべきだとし、反対とします。

賛成討論

米倉英希 議員

介護保険制度は、平成12年に開始され、現在は第9期の介護保険事業計画の2年目となります。

高齢化が進む中、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるため、地域包括支援センターの役割が重要になっています。

睦沢町では、65歳以上の被保険者は減少しているものの、75歳以上の後期高齢者は増加しており、今後も介護サービスの需要が高まる見込みです。

そのため、介護給付費を適正に算定し、介護給付準備基金を活用した予算編成が評価されます。

また、介護予防教室や認知症対策事業など、地域包括ケアの推進にも積極的に取り組んでいます。

今後も町民が健康で支え合うまちづくりを推進し、安定した財政運営を期待し、賛成とします。

後期高齢者医療特別会計

反対討論

松島和子 議員

後期高齢者医療制度は、千葉県後期高齢者医療広域連合が運営し、市町村は取次ぎの役割を担っています。そのため、市町村の裁量は限られています。

国は若年世代の負担軽減を理由に高齢者の負担増を進めています。すべての世代が大切であり、高齢者へのさらなる負担増は避けるべきです。

令和7年度には保険料の引き上げが予定されており、これ以上の負担を強いることに反対し、誰もが長生きを喜べる社会を目指すべきだと主張し、本予算に反対します。

賛成討論

久我眞澄 議員

後期高齢者医療制度は、世代間や被保険者間で公平に費用を負担し、国民皆保険制度を安定的に維持するための制度です。

財政負担の内訳は、公費50%、現役世代40%、後期高齢者10%となっており、高齢者にとって心強い支えとなっています。

今後も高齢者が自立した生活が続けられるよう、厚生労働省や後期高齢者医療広域連合と連携して事業が進められることを期待します。

また、農業の継続が健康や福祉にも寄与するという観点から、支え合いの精神に感謝し、本予算に賛成します。

予算審査特別委員会審査結果報告

委員会構成

委員長 小川 清隆
副委員長 田邊 明佳

// 久我 眞澄

委員は正副委員長を除いた議員全員

審査結果

慎重審査の結果、令和7年度陸沢町一般会計及び3特別会計並びに下水道事業会計予算については、指摘要望事項を付して、それぞれ原案のとおり可決することに決定した。

指摘要望事項

(1) 一般職、専門職に限らず、ここ数年は自己都合による退職者も多い。安定的な人員確保は行政運営並びに住民サービスの向上に特に影響があると思われる。職員確保のため、採用方法の工夫を行いながら、更なる働き方改革、職場環境の改善に努めたい。

(2) 農業従事者の高齢化、後継者不足は加速し、資材などの高騰も続いている。害獣被害などもあり、農地の保全も含め、将来に向け厳しい状況となっている。永続的に農業を推進するために、新規就農者の育成や担い手確保を目的とした支援及び害獣被害を防ぐ対策に努めたい。

(3) 中学校建設は基本計画に着手し、本格的に業務が始動する。子ども子育て支援の環境構築も踏まえ、充実した学校運営となり、さらには園小中一貫教育を向上させるための建設となるよう、議会とも十分に協議を重ねられるよう要望する。

(4) 子どもたちの居場所づくりを含めた教育環境は、園、学校、また地域社会からなり、課題はあるものの幅広く取り組まれている。町にとって子どもたちの学びの環境を充実させることはとても重要な役割であり、質の高い教育環境となるよう取り組まれない。

(5) 指定管理者より運営されている施設は、その管理運営を契約に基づき行われるべきものである。しかし施設の管理に対しては町も監督する必要があると考える。町の顔でもある施設が適正に管理され、町の発展に効果的に反映され続けることが望ましく、今後においても指定管理者を指定し、運営するのであれば、施設の管理状況などの把握に努められ、適切な履行確認を徹底されたい。

(6) 国民健康保険特別会計は、被保険者の減少が要因となり、事業費全体として減少している。税の公平性の観点から他会計繰入に頼ることなく、健康相談、健康教育、特定健診

の保健事業などに取り組む、健康への意識の醸成や、町民の健康増進に努められたい。



予算審査特別委員会会議



予算審査特別委員会現地調査

補正予算

(議案第11号)

令和6年度睦沢町一般会

計補正予算(第7号)

主な内容について歳出は、給与改定により人件費を加減するとともにエネルギーや肥料などの物価高騰に対する支援事業を追加しました。主な内容については教育施設整備基金、財政調整積立基金への積み立てです。

ふるさと創生基金は、各種特定目的基金への積替えを行います。

(議案第12号)

令和6年度睦沢町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

主な内容について歳出は、給与改定による人件費の増額と医療費の減少に伴い療養諸費を減額しました。諸支出金は、令和5年度の清算による一般会計繰出金を追加しました。

歳入は、保険給付費及び地域支援事業費の実績見込

みによりそれぞれおの負担割合に応じ加減しました。

(議案第13号)

令和6年度睦沢町介護保

険特別会計補正予算(第2号)

主な内容について歳出は、人件費の増額、地域支援事業費は実績見込みから減額です。令和5年度から繰越金の一部を介護保険給付費準備基金に積立てします。

歳入は、保険給付費及び地域支援事業費の実績見込みによりそれぞれの負担割合に応じ加減しました。

(議案第14号)

令和6年度睦沢町後期医療特別会計補正予算(第2号)

主な内容について歳出は、給与改定による人件費増額とし、後期高齢者医療広域連合納付金は実績見込みにより追加しました。保険事業費は人間ドックの利用者増により追加しました。

歳入については、保険料

及び繰入金は、実績見込みにより加減し、令和5年度から繰越金保険料還付金を追加しました。

(議案第15号)

令和6年度睦沢町下水道

事業会計補正予算(第1号)

事業の実績見込み、人件費の補正令和5年度決算に伴う固定資産の確定です。

電気料金の引き上げに伴い光熱費水費を増額し、企業債、県、国庫補助金、工事負担金、浄化槽の新規設置基数を15基で計上のことから基にとどまったことからそれぞれ実績に合わせ減額です。

人事案件

(議案第21号)

睦沢町教育委員会委員に次の方が、同意されました。

久我 哲也 氏

(議案第22号)

固定資産評価審査委員会委員に、次の方が同意されました。

豊田 正一 氏

(議案第23号から29号)

睦沢町農業委員会委員に、次の方々が同意されました。

矢澤 勝義 氏

関野 富男 氏

久我 光男 氏

山田 浩士 氏

中村 勇 氏

上村 大成 氏

櫻井 美津子 氏

(議案第30号)

副町長に次の方が、同意されました。

平山 義晴 氏

[illegible]

※表の見方 ○：賛成、×：反対、欠：欠席、退：退席 除：除斥 議長は評決に加わらないため「―」で表示

令和7年第1回定例会 議員別表決結果一覧

議 案 名			議 員 名		審議結果		田中 リ工	三橋 優一	松島 和子	島貫 孝	小川 清隆	久我 眞澄	伊原 邦雄	田邊 明佳	中村 勇	市原 重光	米倉 英希	麻生 安夫	議案概要
陳情	第1号	訪問介護基本報酬の引き上げと介護報酬の再改定を早急に求める陳情書	可決	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	早期に介護基本報酬を見直し介護事業を十分に支えられる報酬となるよう国に求めるもの
	第1号	睦沢町犯罪被害者等支援条例の制定について	可決	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	犯罪被害者の支援に関する事項を制定するもの
議案	第2号	情報通信技術の活用による行政手続等にかかる関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るためのデジタル社会形成基本法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	可決	賛成多数	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	法律の改正に伴い条例を改正するもの
	第3号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	可決	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	法律の改正に伴い関係する条例を一括改正するもの
	第4号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	法律の改正に伴い条例を改正するもの
	第5号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	法律の改正に伴い条例を改正するもの
	第6号	睦沢町特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	賛成多数	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	特別職の期末手当の支給率を0.10月上げるもの
	第7号	一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	可決	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	期末勤勉手当、各種手当てを引き上げるもの
	第8号	むつざわスマートウェルネスタウン拠点形成事業にかかる債務負担行為管理基金条例を廃止する条例の制定について	可決	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	新たな基金の積み立てを行わないため廃止するもの
	第9号	睦沢町の特定の事務を取り扱う郵便局の指定について	可決	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	指定した郵便局にマイナンバーカード事務等の一部を委託できるようにするもの
	第10号	町道路線の認定について	可決	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	川島グリーンタウン内の路線を認定するもの
	第11号	令和6年度睦沢町一般会計補正予算(第7号)	可決	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6億732万8千円を追加し歳入歳出それぞれ45億6,204万8千円とするもの
	第12号	令和6年度睦沢町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5,504万5千円を減額し歳入歳出予算額を9億6,058万4千円とするもの
	第13号	令和6年度睦沢町介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	419万円を追加し歳入歳出予算額を8億5,912万2千円とするもの
	第14号	令和6年度睦沢町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	187万5千円を追加し歳入歳出予算額を1億3,674万1千円とするもの

※表の見方 ○：賛成、×：反対、欠：欠席、退：退席 除：除斥 議長は評決に加わらないため「－」で表示

町 政 の 課 題 を 問 う

一 般 質 問

島 貴 孝 議員

放課後児童クラブ
土曜日の再開は

問 放課後児童クラブにおいて、土曜日の開所を令和5年度から2年間休止しているが令和7年度の予定はどうですか。

教育長 土曜日開所の再開は未定です。

問 この2年間での人材確保、人材育成について伺います。

教育長 スタッフのシフト調整が難しく、人員不足が続いています。支援員の資格者は3名いるが、1名が令和6年度末で退職予定です。待機児童は減少傾向にあります。引き続き支援員の確保が課題です。

問 年配の職員も多いが、資格取得に年齢制限はありますか。

教育課長 資格取得の年齢制限はなく、希望者は研修を受ける事ができますが、ご自身の都合や家庭の事情などで資格取得は進んでおりません。

問 現在、土曜日の利用を希望している方の人数を把握していますか。

教育課長 土曜日の利用に関する問い合わせは来ておらず、今のところ人数は正確に把握できていません。

中学校部活動

問 現在、休日の活動において、卓球部とバレーボール部のみが地域クラブとして活動しているが、その他の部活動、ソフトテニス、バスケット、サッカー、

剣道、吹奏楽、芸術についても、今後、徐々に地域クラブに移行するものと認識している、千葉県が示す休日の地域移行のスケジュールは、令和7年度末には、完全地域移行までの計画を策定するとされているが、今後のスケジュールを伺います。

教育長 令和8年度からは休日の部活動を学校では行わず、地域クラブで運営予定です。

問 教員の負担軽減など、課題は様々あると思いますが、希望する教員が休日に外部指導者として活動する事は可能でしょうか。

教育課長 教員の働き方改革のため、陸沢中学校では教職員は休日の指導を原則行わないこととしますが、総体や新人戦の試合の引率は可能

とします。

問 指導者の確保はどうですか。

教育長 指導者の確保が一番の課題で、先行する卓球やバレーボールのように、地域や保護者の中にその指導ができる方がおり、その活動に賛同し、休日を返上して講師を引き受けるなどしてくれる方がいますが、適任者を見つけることは難しく、現在の学校部活動の全てを地域で引き継ぐことは困難であると考えます。

現時点ではつきりといえることは、令和8年度からの休日部活動は、学校では行わないが、陸沢の生徒及び保護者、また町民の方などから、地域クラブなどをつくり活動したいとの声があれば、町教育委員会としても積極的な支援を行います。

田 中 リ エ 議員

k i t みずさわ
施設管理について

問 k i t みずさわの草刈りが行われておらず、防災面でも不安があり草木が繁茂し手に負えなくなっている可能性があります。環境整備についてどのような基準を設けて行われていますか。

企画財政課長 校舎裏については、管理者が年2回から3回程度草刈りをしているようです。繁茂する季節については確認します。

問 施設の玄関に水銀灯が設置されているが、防犯面から夜間の点灯は可能ですか。

企画財政課長 電気代の負担が大きいことから難しく、方向性はわかりません。

防犯対策として県道に町で防犯灯を設置する対応をとっています。

問 k i t みずさわはクーリングシエルターに指定されていますが、入口の門は常に閉まっており使えなかったとの声を町は把握しているのでしょうか。

企画財政課長 利用者でない方の駐車対策として閉めており、2月から管理人が常駐しておらず避難所開設の際には町職員が行って開けることとなります。



町政の課題を問う

一般質問

松島和子 議員



学校給食無償化を

問 子どもの成長は喜ばしい一方、物価高騰で食費や光熱費などの負担は増し、教育費の負担削減は欠かせません。町では学校給食無償化を進めるつもりはありますか。

教育長 急激な物価高騰は、安心・安全な学校給食の提供に当たり、令和7年度予算編成においても大変苦慮しています。本来であれば、給食費値上げも考えなければいけないところ、保護者負担については据置きとします。

無償化については国の議論も本格化しており、財政力の低

い自治体にとっては、全国的に実施されることから、その実現を願っているところ

不登校対応

問 県では、令和5年2月千葉県不登校児童・生徒の教育機会確保を支援する条例が制定され、不登校の社会性を尊重し、不登校児童・生徒が再び登校することを目的とせず、将来の社会的自立を目指す不登校児童・生徒一人ひとりの状況に応じた多様な学習活動を認めて支援することを基本理念で推しているが、町は承知していますか。

町は、子どもの実情に合わせ、ひだまり教室の日数を増やすなど、充実させていく考えはあります

教育長 条例は承知しています。個に合

わせて内容の充実を図っていくことは必要であると思います。単に日数や時間を増やすことは、学校や学級に戻るための妨げになる可能性もあることから、現状では考えていません。

町長 ひだまり教室については、教育委員会に、保護者の意見などをしっかりと確認をしていただき進めていきたいと思

消防署について

問 消防署が8署体制から6署体制になるということですが、これは決定したことで

町長 消防本部中央消防署の建て替えが完了して、6署制が整うまで10年間程度と

考えています。その間については現在

の体制にかわりはありません。また、住民への説明については、明確な方向性が出たときには、関係各所と協議し、計画していきたいと考えています。

公衆電話

問 災害時、携帯電話がつながりにくくなる事も多いので各地域に公衆電話を設置してほしい。また、駐在所や公衆トイレの場所がわかりづら

町長 総務課長 大規模災害が発生して、災害救助法が適用された場合には、避難所において、災害救助法に基づく災害時用公衆電話が

無料で利用ができるとのことです。

庁舎駐車場について

問 夜間の会議時、足元が暗くつまずきそうになり危険な思いをした方がいます。

照明設備の点灯はどうしていますか。

町長 通常時間外、夜間利用が少ないことから県道沿いを除き街灯はつけていません。会議を開催する場合タイマーによる点灯消灯の管理を行っています。



昭和58年町制施行に伴い建立された銅像

問 現在、駐車場にある、町出身の芸術家、吉野氏から寄贈された作品に錆も出てきています。

庁舎ホールなど、来庁者に見ていただける場所へ移設する考えはありますか。

総務課長 役場は災害活動の最重要拠点であり、有事の際は避難者や関係者が集まります。

その際、ホールに固定物があつては迅速な対応に支障をきたすことが懸念されることから、即座に移動できる物のみ置くことにしました。

しかしながら大切な寄贈品、美術品でありますので適切な管理に努めてまいります。

町 政 の 課 題 を 問 う

一 般 質 問

久我眞澄 議員



農業の将来

問 高齢化が進む町の農業で定年帰農者や半農半Xの方々に
よる小規模農家が専
業農家とともに地域
を支える主役となっ
ています。

一方、国の農業政
策では農地の集約
化・効率化を目指す
方向がより明確に
なってきました。

10年先を見通す町
の地域計画の検討状
況について伺います。
農業委員会事務局長

地域計画が目標地
図を含め策定するこ
とが義務づけられま
した。産業建設課と
も連携し、国の動向
にも注意して今年度
には農地計画を取り

まとめ公表する予定
です。

問 耕作放棄地の解
消に向けての取り組
みについて伺います。

町長 耕作放棄地の
要因には、高齢化や
後継者不足、農地の
環境条件、鳥獣被害
など多様であり複合
的な対処が必要です。

これまで多面的機
能支払交付金などの
活用、有害鳥獣防止
柵設置補助、農地集
積促進事業による集
積・集約化、担い手
不足に関しては圃場
の幹旋や支援制度の
紹介を実施していま
す。

本町の美しい田園
風景は、人々の心を
和ませ、農業・農村
の有する多面的機能
が私たちの生活にお
いて果たす役割とも
密接に関わることか
ら、引き続き農業委
員会と連携しながら
耕作放棄地対策に取
り組んでいきたいと

考えています。

問 経年劣化の進む

農道の路肩崩壊や用
水管路の破損漏洩な
どの修復工事費用に
ついて伺います。

町長 将来を見据え

町の健全財政を維持
しながら良好な保全
管理を行うにはみな
さんの協働作業は不
可欠です。町でもこ
れらの協働作業の継
続に対し多面的機能
支払交付金事業で対
応しています。

また、近年の高齢化
や世帯数の減少にと
もなう集落機能の低
下に対処するため同
交付金事業は、トラ

クターの草刈りア
タッチメントなどの
購入費にも充てるこ
とができます。機械
化による労力軽減と
効率化につながる取
り組みには、町とし
ても推進していきたい
と思っています。

空き家、空き地対策

問 空き家・空き地

の災害時に被害増幅
の恐れがある立ち木
の伐採処理などにつ
いて伺います。

町長 適切に管理さ

れていない空き家な
どは増加傾向にあり、
防災、防犯、また衛生、
景観など地域住民に
様々な影響を及ぼす
社会問題であると捉
えています。しかし
ながら、所有者の財
産であることから法
律により所有者が自
主的に管理すること
が原則となっています。

産業建設課長 町で

は、空き家など対策
計画に基づき、空き
家の予防・利活用・
解消の三つの柱をバ
ランスよく推進して
います。

これまでの行ってき
た、空き家・空き地
バンク制度や家財道
具処分補助・空き家
除去支援補助などは
継続するとともに、
新たな取り組みを加
えました。一つ目は、
発生要因として相続
問題などが挙げられ
ることから住まいの
エンディングノート
を作成し配布をはじ
めました。二つ目と

して、空き家の流通
促進を図るため民間
の企業と包括連携協
定を結び様々な情報
提供ができるスキーム
の構築を進めます。
以上の対応により
その成果が増してい
るところです。



町政の課題を問う

一般質問

田邊明佳 議員

瑞沢地区町有地
その活用は

問 瑞沢地区に多くある町所有の山林の活用は進んでいませんか。町としてこれらの活用と保全について伺います。

町長 瑞沢地区の町有地は過去に活用案が検討されたものの、環境や防災上の懸念から地元の理解を得られず、実現には至りませんでした。今後は事業者が提案しやすい環境を整え、提案があれば検討して協力したいと考えています。

問 以前、打合せを進めていると答弁がありました。現在の状況を伺います。

町長 開発をする予算がないことから、立ち止まっています。サウンディング調査をしながら、推し進めていきたいです。

問 町有地の活用に関心自治体間の連携、研究などもされてはいかがですか。

町長 大多喜町、いすみ市と、土地問題、活性化事業など連携を強めていきたいと考えています。

有害鳥獣対応

問 イノシシ、キョンなどは対応に苦慮していますが、当町もいつ人的被害が出るかわかりません。実際、児童・生徒の登下校で不安があると聞いています。

町では、今以上に、もう一歩進めた対応策の考えはありますか。

町長 睦沢町鳥獣被害



有害鳥獣対応

害対策防止計画に基づき、総合的かつ効果的、効率的な対策に取り組んでまいりました。

今後は狩猟免許取得者の増加が図れるように、待遇面での制度とサポート体制を整えていきたいと思っています。

問 新年度予算で駆除従事者への報奨金は危険に見合う金額ではなく、サポート体制を整えるには少ないのではないのでしょうか。

産業建設課長 他町では狩猟免許更新の補助などもありますので検討します。

教材費無償化は

問 教育に関わる教材費などは無償とすべきと考えています。また学校建設も順次進めていく中で、ソフト面の充実も必要となっていくと思います。教材費無償化にも取り組みませんか。

町長 学習ドリルの使用料を町が全額負担する新年度予算を計上しました。さらに小・中学校における教材費全般で、楽器など、町が用意できるものについては

検討するよう教育委員会に指示を出しました。町の財源は限られています。保護者の経済負担の軽減につながるよう、今後も努力します。

広報について

問 広報むつざわ1月号の表紙について、町の意図するところを伺います。

町長 被写体をできるだけ大きくすることにより、紙媒体での広報紙だけではなく、小さな画面のパソコンやスマートフォン、タブレットなどでも見やすいものを意識したつもりとなっています。

表紙については賛否両論ありましたが、意欲的な取組として、20年後、30年後の睦沢町を見据えて、みんなで見えていこうという思いがあるということをご理解く

ださい。



学習教材

議会活動日誌

月 日		行 事 内 容	月 日		行 事 内 容
2 月	2 日	歓喜寺節分会	3 月	3 日	議会第 1 回定例会（～ 10 日）
	4 日	長生広域議会第 1 回定例会（25 日）		4 日	議会運営委員会
	7 日	長生広域議会常任委員会		5 日	予算審査特別委員会（～ 7 日）
	11 日	長南町合併 7 0 周年記念式典		10 日	議会改革特別委員会
		白子町合併 7 0 周年記念式典			議会だより編集特別委員会
		建国祭		11 日	睦沢中学校卒業式
	12 日	長南町ガス事業運営協議会		14 日	睦沢小学校卒業式
	13 日	農業再生協議会			厚生文教常任委員会
	14 日	議会運営委員会・全体会議		17 日	健康づくり推進協議会
	16 日	千葉県知事県政報告会		18 日	環境審議会
	17 日	長生郡市議員会第 2 回地区交流会		19 日	睦沢こども園卒園式
	18 日	東庄町議会・教育委員会合同視察		24 日	例月出納検査
	19 日	一宮聖苑組合第 1 回定例議会	長生広域議会臨時会		
	20 日	例月出納検査	4 月	8 日	睦沢こども園入園式
	21 日	千葉県町村議会議長会第 3 回定例会			町商工会青年部通常総会
九十九里地域水道企業団理事会		9 日		睦沢中学校入学式	
27 日	広域例月出納検査	10 日		睦沢小学校入学式	
	かずさ有機センター運営協議会	14 日		議会だより編集特別委員会 (15 日、25 日)	
28 日	高齢者保健福祉計画推進委員会	24 日		例月出納検査・長生広域例月出納検査	

議会を傍聴しませんか

また、インターネットでも
ご覧いただけます。

第2回(6月)定例会は
6月5日(木)から
開催の予定です。

詳しくは、議会事務局 ☎44-2510へ
お問い合わせください。

睦沢町 LINE公式アカウント

睦沢町では、LINEを新たな広報手段として活用し、さまざまな情報を幅広く発信しています。

睦沢町議会が発行する議会だよりも、LINEで見ることができるようになりました。

QRコードを読み取り、LINE登録をお願いします。

編集後記

3月、4月は卒業式、入学式に出席してきました。中学校で卒業生が歌ったRADWIPPSの『正解』。卒業式で『仰げば尊し』『蛍の光』ではなくJPOPを歌う事は職員室でも賛否があつたかと思いますが「自ら一步をあゆみだす15歳」として、自分たちで考え、実行したのでしよう。その歌声に感動しました。素晴らしい卒業式でした。

今号の議会だよりは、主に令和7年度予算についての記事が載っています。こども園の人材確保、中学校建設、デジタル教材の無償化など、子育て・教育に関する予算も多く計上されています。

少子化は進みますが、睦沢町の将来を担うこども達の為にできる事を、着実に一歩一歩進めてまいりたいと思います。

島貫 孝 記